

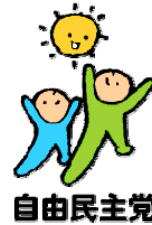
神林レポート

東京都議会議員 神林 茂 (かみばやし しげる)

〒144-0034 大田区西糀谷 4-16-17 Tel : 5735-3150 / Fax : 5735-3151

<http://www.s-kamibayashi.com/>

E-mail kbs0417@nifty.com



事務連絡

No. 67

第二刷



神林 茂 議員、

またまた石原都政を質す！

2月23日、平成十九年度都議会予算委員会総括質疑において、45分間の一問一答形式で、都債の格付け、羽田空港跡地利用、十年後の東京・緑のネットワーク、おいしい水、飲酒運転根絶キャンペーンなどについて、石原都知事を中心に所管各局長に質問いたしました。今回は、地元の課題である羽田空港跡地利用についての質疑応答の中から、一部抜粋してレポートいたします。

羽田空港跡地利用は、地元周辺地域も含めて広域的に進めるべきだ。

(都議会予算特別委員会 神林茂委員の総括質疑より抜粋)

神林議員

羽田空港に関する諸問題について伺います。平成十八年第一回定例会での私の質問に対し、石原知事は、国や地方自治体とも調整し跡地利用に主体的に取り組むとの意気込みを表明されました。前回の質問以降の跡地に関する動きと跡地の土地利用検討に関する今後のスケジュールについて伺います。

柿塚都市整備局長

昨年十二月、国と都と地元区から成る羽田空港移転問題対策協議会(三者協)が開催され、国から跡地の範囲と面積が提示されました。都は三者協を開催し、跡地利用の基本的な考え方や計画策定の具体的な進め方等について協議してまいります。

神林委員

跡地には、川に面する特性を生かした親水性の高い空間の整備、増大する人との流れに伴う交通の処理、物流施設の立地に対する対応、大田区の地場産業であるものづくりとの連携など、さまざまな課題があります。私は、跡地利用の検討に際しては、ただ跡地の範囲に限るのではなく、広域的な観点からも考えていくべきと思っておりますが、都は、この点についてどう考えているのか、お聞かせください。

柿塚都市整備局長

委員のご指摘のように、跡地利用を考える際には、周辺地域との関連性にも十分配慮していく必要があります。都は今後、このようなことも視野にいれながら、国や地元と協力し、跡地利用に積極的に取り組んでまいります。

神林議員

空港跡地の開発と共に、空港周辺地域の環境や産業も同時に前進することを強く望んでいます。ぜひ、周辺地域との係わりに十分配慮しながら、跡地利用を進めてもらいたいと思います。海老取川沿いの地域は市街地と最も密接な地域であり、都で整備されている緑道、武蔵野の路の延長線上にあり、水際線の整備が期待されます。また、海老取川とB滑走路に挟まれた旧整備場地域は、跡地を有効利用する観点からも、跡地と連携した利用が望まれます。従って、跡地利用の検討に加え、海老取川沿いの地域と旧整備場地域についても検討されることを提案致します。再拡張後は、発着容量が1.4倍に増加し、国際旅客については年間七〇〇万人の利用が見込まれており、社会経済の活性化や国際競争力の向上に資することが期待されます。国際競争力向上のためにも、再拡張後における羽田空港への鉄道アクセスを充実させるべきと考えますが、現在の取り組み状況について伺います。

柿塚都市整備局長

羽田空港の持つポテンシャルを十二分に発揮するためには、鉄道アクセスの強化が重要であると考えています。現在、京浜急行線では連続立体交差事業、東京モノレールでは追い越し施設の建設が進んでいます。国際線ターミナルの開業に合わせ、両線それぞれが新駅を設置する予定です。

神林委員

JR蒲田と京急蒲田を結ぶ蒲蒲線の課題も、ぜひ検討を引き続きお願いします。羽田空港の持つポテンシャルを最大限に活用して、跡地を中心とした周辺のまちづくりを進めるためには、大田区などの地元自治体や民間との連携が不可欠であると考えます。都としても、こうした点を踏まえ、今後さらに積極的に取り組んでいただきたいと思います。



東京都議会議員 神林 茂

「飛翔の集い」(仮称)

平成19年10月15日(月)

開場 午後6時 / 開会 午後6時半

羽田ギャラクシーホール

(羽田空港第一ターミナル6F TEL03-5757-8181)

今回は、都政報告とともに、石原伸晃・石原宏高両衆議院議員をゲストスピーカーにお迎えして、神林がインタビュアーとして、お二人に、政治の話他、幅広くお伺いする企画を計画しております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



都議会議員 神林 茂

お問合せ先：神林茂事務所 大田区西糀谷4-16-17 TEL5735-3150

これでいいのか! ...喝!!!

残念でなりません・・・。東京都の平成19年度予算委員会が2月16日から3月7日まで開催されました。今年度の都民の暮らしを支える特別会計も含めた13兆円にもぼる膨大な予算を審議する一年のうちで最も大切な委員会であります。にもかかわらず、選挙を目前にして国会同様、民主党と共産党は石原知事の行動を明確な確証もないあら探しや批判ばかり。確かに、知事の旺盛な行動力の中で、若干派手な部分もありますが、それを上回る素晴らしい成果や実績を残しているのは周知の事実です。肝心の予算審議は申し訳程度。どうしてもやりたければ、別な場を設定してやればよい。都民の生活がかかわる大切な予算委員会を一体なんだと思っているのだろうか?・・・喝~!!!

「おいしい水の話」



東京都水道局HPより

海外へ出て、初めて東京の良さがわかると言われます。下町の人情こそ、最近では少しばかり薄れがちですが、四季折々の風情は日本人には欠かせないもの。また、医療や保険も充実していて、街では治安がしっかりと保たれ、ゴミもあまり落ちていません。そして特筆すべきは、世界中の都市の中で、水道の蛇口から直接溢れ出る安全でおいしい水を飲めるのは、東京だけあります。

私は、地味ですが、そんな私たちが生活する上で最も大切な東京の水について、都議会の予算委員会で質問をいたしました。

水源の水質を保つことがまず第一であり、続いて、高度浄水処理の全量導入に向けて着手され、さらに、残留塩素の低減化を進めて、これからも東京の水道水を確実に向上させていくとのことでした。

しかも、コストは1.50のミネラルウォーター1本を購入するのに必要な200円で、水道水なら9750、650本分を買うことが出来ることになりました。

そしてまた、そこには、一日も欠かさず毎日おいしい水を私たち都民に供給してくれている水道局の職員がいることも忘れてはなりません。

一昔前、水道水はカビ臭いとか、カルキ臭いとか言われましたが、現在では、ハッキリと胸を張って「NO」と言えます。

朝、目覚めたら、大きなコップに東京の水をたっぷりを入れて、思い切り飲み干してみてください。きっと充実した一日が始まると思います。但し、都民の大切な水です。節水を皆で心がけましょう。



東京都水道局ではペットボトル入りの東京の水も販売しています。

東京都水道局 <http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/>